

校長室だより 第11号

校長 瀧 俊彰

全員の感動のもとに幕が降りた合唱コンクール 素晴らしい思い出の1ページ

第31回光陽中学校合唱コンクールが11月10日に、南海浪切ホールで行われました。この合唱コンクールに向けて長い時間かけて練習し、完成したそれぞれのクラスの課題曲と自由曲が発表されました。また3年生による全員合唱が披露されました。



当日は雨の天気予報で、学校から会場の浪切ホールまでの徒歩での移動が心配でしたが小雨程度で大きな混乱もなく無事移動できました。移動後会場でのリハーサルも終わり、開始前にはクラスで声を合わせて気合を入れていました。

コンクールが始まって終わるまで本当に心が洗われるような時間と空間でした。合唱を発表する側と鑑賞する側、舞台と観客席が一体となっていました。各クラスの心のこもった合唱に熱い、またさわやかな感動をいただきました。そして、長い時間かけて作り上げた「クラスのまとまり」を発表してくれたことを大変うれしく思います。

開会にあたり「コンクールである以上結果はついてきますが、結果以上に今までの練習の過程を大切にしてほしい。」と話しました。結果よりもこれまでの過程をそれぞれの心にとどめて「頑張ったこと」をクラスの全員で思い出として共有してください。どのクラスも結果以上の「達成感」と「所属感」を味わってくれたことと思います。頑張った自分をもう一度褒めてください。そしてこの合唱コンクールで学んだこと、経験したことを今後の生活に活かしてください。

10月の体育祭での縦割り活動での応援、今回の合唱コンクールでも3年生の活躍は見事でした。各クラスの合唱と全員合唱は見ている人たちを感動させるものでした。一つずつ終わっていく各行事に対する3年生の意識と取り組みには拍手を送りたいと思います。特に最後の合唱コンクールにかける思いは特別に強く感じられました。「最後の思い」を1, 2年生のみなさんもしっかり聴いて、見てくれたはず。3年生の思いが1・2年生に伝わるのが光陽中学校の合唱コンクールの伝統であると強く感じました。これからも良き伝統がいつまでも引き継がれていくことを願います。

最後になりますが、会場まで足を運んでいただき参観いただいたたくさんの保護者の方々にお礼申し上げます。生徒たちの頑張る姿をしっかりと見ていただきありがとうございました。

令和 5 年 11 月 15 日 岸和田市立光陽中学校